

1 背景

『静岡県立高等学校の在り方に関する基本計画－静岡の未来を創る生徒のための学校づくり 令和6年度≫令和10年度』（令和6年3月静岡県教育委員会）目指す県立高等学校像【**学びの変革**】変化の激しい時代－「探究的な学び」等を通じて主体的、多様な学びを【**地域（実社会）との連携**】－社会資源の活用も含め地域と一体となった教育活動【**教育基盤の確立**】－公教育に求められる学びの機会を提供するための教育基盤の確保

○計画の概要（骨子）地域との連携

- 地域との対話のプロセスを重視した学校運営の推進
- 学校や地元自治体、社会教育機関、民間企業等が主体的に連携し、高等学校を支える仕組みの検討
- 学校と地域をつなぐコーディネーターの活用の検討

「沼津地区グランドデザイン」（令和6年7月）

【**学びの変革のあり方**】から

■多様で専門的・先進的な学びの展開 ■学びの変革に向けた環境整備

【**地域との連携のあり方**】から

■全ての公立高校における地元自治体や地域産業界との連携強化

●地域と連携した探究学習、職業観の育成・キャリア教育の推進、地域産業の担い手育成 ●多様な経験を踏まえた人間形成の機会の提供 ●市街地の再開発や駅の高架化など、沼津地区のまちの将来等について考える機会の提供 ●学校と地域や企業とをつなぐコーディネート人材の育成

【**教育基盤のあり方**】

■グランドデザイン実現に向けた最適な方策の検討 ■学校・学科間で連携した学びの推進（遠隔教育の活用） ■未来を見据えた実学系高校 ■横断的な学びの普通科高校

2 「行きたい学校づくり」推進事業

本事業は令和6年3月に策定した「静岡県立高等学校の在り方に関する基本計画」における「学びの変革」等の具現化のため、取組テーマとして「探究学習推進」等の4つの項目を設定し、実施する。

「探究学習推進」の留意点

- 目的…生徒の自主性や学習意欲を喚起する探究的学びへの変革及び県内全ての県立高等学校が、連携して探究学習に取り組む体制作りを推進多様な学習ニーズ・進路希望等に対応した学びへの変革することを目的とする。
- ねらい…**探究的な学習手法の全校での実践による主体的に学ぶ力の育成、探究に係る地域資源の有効活用、大学入試（総合型選抜等）への対応** ○ゴールイメージ…全地区におけるコンソーシアム構築コンソーシアムを通じ地域資源を有効活用した3年間の指導計画と教材の完成
- 沼津地区拠点校…沼津西 ●連携校…御殿場、御殿場南、小山、裾野、沼津東、沼津城北、沼津工業、沼津商業（オブザーバー校…市立沼津）

3 沼津地区の探究学習推進計画

- 1 拠点校の計画（令和6～8年度）（詳細別紙）
 - (1) テーマ…探究学習推進により各校のスクール・ミッション、スクール・ポリシーを実現
 - (2) ねらい ●探究的な学習手法の沼津地区全校での実践による主体的に学ぶ力の育成 ●探究に係る地域資源の有効活用 ●探究学習によって地域貢献できる人材を育成し、地域活性化に寄与 ●大学入試（総合型選抜等）への対応
- 2 連携校の令和6年度の計画（詳細別紙）

4 県立高等学校における探究学習推進の主な課題

高等学校における探究推進の主な課題

- 1 外部講師とコーディネーター
 - (1) 探究のために高校の教員だけでなく地域の人材による指導が求められる
 - (2) 信頼できる外部講師を毎年開拓するのは労力がかかる
 - (3) 探究の外部講師のコーディネートの人材が学校には不足しているので活用や育成が必要
 - (4) 連携校や拠点校の外部講師への報償費が探究の費用の中で5割から3割を占める
- 2 複数の市町に関連
 - (1) 高校の所在地のある市町と生徒が居住する市町は異なる
 - (2) 沼津地区コンソーシアムは3市3町（沼津市、裾野市、御殿場市、清水町、長泉町、小山町）に関わる
 - (3) 県立高等学校なので、これらの市町だけでなく、県庁や東部総合庁舎等の支援が不可欠
- 3 学校の働き方改革
 - (1) 探究だけを専任として指導する教員はいない
 - (2) 授業、クラス、校務、部活動等の業務でも学校の働き方改革が叫ばれている
 - (3) 外部講師とのコーディネート、行政や民間とのコーディネートは相当な負担増

5 アドバイザーによる助言

アドバイザーによる助言（大正大学地域創生学部教授・浦崎太郎氏）（当時）

「県立高校と市町を繋ぐのはリソースも少ないので、むしろ県庁との繋がりをまず作り、そこから市町と繋がるべき。事業を継続するためには、**行政の予算でコンソーシアムを運営し、民間から資金が集まる仕組みを作るべき。また実務を担当する人材を作るべき。**山形県の「新庄最上ジモト大学」のコンソーシアム、鳥根県浜田市の「HAMANDA教育魅力化コンソーシアム」のコーディネーターが参考になるだろう。」

6 課題の解決策

- 1 **行政の予算でコンソーシアムを運営し、民間から資金が集まる仕組みを作る**
- 2 **ワンストップ窓口を設置し、実務を担当するコーディネーターの配置する**
- 3 **行政、民間が開催する探究学習プログラムと生徒の希望する探究プログラムを開発する**

7 課題の解決により期待できる具体的な効果

- 1 **コミュニティの創造**…①エリア・コミュニティ（居住している地域内での人々の繋がり） ②テーマ・コミュニティ（街づくりに関わる教育・医療・産業・文化芸術等に関わる人々の繋がり） ③沼津地区高等学校コミュニティ（沼津地区の県立高校に関わる人々の繋がり）が新たに創造される…**地域・実社会との連携**
- 2 **イノベーションの発生**…地域の様々な資源をコンソーシアムに創造的に導入し、教育がより質の高いものにイノベーションされる…**教育基盤の確立**
- 3 **アントレプレナーシップの育成**…このようなコンソーシアムにおいて探究により、コミュニティに新たな価値を創造するアントレプレナーとなるような学びを実現する…**学びの変革**

令和6年度「行きたい学校づくり」推進事業 沼駿地区探究コンソーシアム計画書等

1 拠点校計画（令和6～8年度）

学校名	沼駿地区8校 （学校番号あり） 県立沼津西高等学校 ：（御殿場・御殿場南・小山・裾野・沼津東・沼津城北・沼津工業・沼津商業）	テーマ	探究学習推進 （探究学習推進によって各校のスクール・ミッション、スクール・ポリシーを実現する）
研究事業名	県内全地区における探究コンソーシアムの構築	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 探究的な学習手法の沼駿地区全校での実践による主体的に学ぶ力の育成 ◆ 探究に係る地域資源の有効活用 ◆ 探究学習によって地域貢献できる人材を育成し、地域活性化に寄与 ◆ 大学入試（総合型選抜等）への対応
本事業を経る目指す姿	<p>（1年目）【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オンライン・ハイスクールの成果である探究による主体的な学びの深化、他校との連携の波及を行う。 ● 連携校と研究協議会を発足し、沼駿コンソーシアムを連携校と構築するための準備を行う。 ● コンソーシアムの構築に向けて、先進的なコンソーシアムの拠点校、探究の先進校を視察する。 ● 研究協議会では各校の担当者及管理職が各校の探究の現状について情報共有し、大学の研究者等の講演会で課題の共有を図る。 ● 本校の特色化のため、普通科・芸術科が探究を協働し、相互に影響を及ぼす学科横断的な取組を推進する。 	<p>（2年目）【試行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本校は拠点校として、沼駿地区県立高等学校コンソーシアムを構築するための具体的な体制づくりを行う。 ● コンソーシアムの2つグループでそれぞれ生徒によるポスターセッションによる合同発表会を開催する。 ● 研究協議会を開催し、パネルディスカッションで探究に係る地域資源の有効活用の方法を検討する。 ● 大学入試（総合型選抜等）への対応のために、各校の進路担当も研究協議会に参加する。 ● 本校では、芸術科が行っている地域貢献（演奏会・展示会等）の経験を共有する方法を検討する。 ● 本校の連携先の拡充と支援体制の確立を行う。 	<p>（3年目）【成果発表、まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コンソーシアムを通じ地域資源を有効活用した3年間の指導計画と教材の完成し、グループウェア（グループ）等でデータベース化する。 ● 沼駿地区の9校がコンソーシアムの関係者も招いて合同発表会を開催する。 ● 沼駿地区の各校が探究学習推進により、各校のスクール・ミッションとスクール・ポリシーを具現化する。 ● 大学入試（総合型選抜等）への対応を各校で共有する。 ● 本校の普通科と芸術科との学科横断的な取組により地域貢献できる人材を育成することで、行きたい学校づくりを推進する。

2 拠点校成果目標

	初期値（令和6年度当初）	令和8年度末目標値
①授業内容に興味があって学校を選択した生徒の割合（%）	73.4	85.0
②（授業以外の）指導内容に興味があって学校を選択した生徒の割合（%）	92.6	93.0
③志願倍率（志願者数/募集定員数）	芸術科0.98 普通科1.13	芸術科1.05 普通科1.15

3 連携校計画（令和6年度）

学校名	取組（計画）	学校名	取組（計画）
御殿場	これまで学んできた保育の知識・技術を生かして、園児向け劇を制作する。脚本、道具制作、演者すべてを生徒が行うことで、思考錯誤しながら探究のプロセスに沿った深い学びに繋げる。完成後は近隣保育園や卒業製作発表会において地域の方に披露する。	沼津東	揺籃（総合的な探究の時間）の生徒支援のための教職員のスキルアップのため、ワークショップを開催する。他校の教職員の参加も可とする。
御殿場南	「英語が好きになる探究体験！高校生日帰りEnglish camp（イングリッシュ キャンプ）in 御殿場」の開催。中北駿地区の高校生を対象として、英語への興味・関心を高める1日体験型のプログラムを企画及び運営する。午前は吉本興業の芸人による英会話講座、昼はランチ交流会、午後はオールイングリッシュ交流会を予定している。	沼津城北	様々な団体や組織と連携している探究推進校を訪問・視察し、発表会に参加して、自校の取組に活用する。探究学習における地域と連携や充実に向けて講師やアドバイザーを招き研修会を実施する。
小山	グループごとにSDGsにおける17の目標をもとにテーマを設定し、持続可能な開発目標が現在の社会の中でいかに重要であるか、また未来に生きる人々にとってどれ程必要なことであるか自ら考え、また観客にも伝わるような演劇（30分～40分程度）を行う。	沼津工業	【沼津の伝統文化継承に関する学び】 課題研究において、沼津の伝統工芸である沼津垣の製作研究について、外部講師の指導を受けながら学びを深めるとともに、木材加工の技術力向上と郷土愛を育む。
裾野	・3年生を対象に、総合的な探究の時間にコーディネーターをお願いするとともに「20年後の仕事と生活」と題して、講義等を実施する。 ・企業等の外部団体等を開催して、総合的な探究の学習発表会を実施する。（各学年代表者）	沼津商業	1年次の総合的な探究の時間及び2、3年次の課題研究において、地域課題を探究する活動等に取り組み、産業界及び地域社会を担う有為な人材の育成を目指す。

4 コンソーシアム図

「探究学習推進」のための沼駿地区県立高等学校コンソーシアム2.1（案）

